

景文科技大学 教師教学への学生アンケート調査実施要点

(教 030)

2002年10月8日教務会議通過

2003年11月25日教務会議修正通過

2005年1月20日教務会議修正通過

2007年1月9日 2006学年度第12回行政会議通過

2009年4月28日 2008学年度第2学期第1回教務会議通過

2009年10月21日 2009学年度第1学期第1回教務会議修正通過

2012年11月20日 2012学年度第1学期第1回教務会議修正通過

2013年05月07日 2012学年度第2学期第1回教務会議修正通過

- 一. 景文科技大学（以下、本校）は、学生の学習効果を把握し、教学効果を向上させるため、教師教学への学生アンケート調査実施要点（以下、本要点）を特別に制定し、教師の教学改善の参考とする。
- 二. アンケートは必修・選修を問わず、全てのコース課程で実施する。
- 三. 原則として毎学期、中間試験と期末試験前に各1回実施する。
- 四. アンケート結果を分析するため、本校は「教学アンケート研究チーム」を設置し、アンケートの内容を適時改訂する。
- 五. 「教学アンケート研究チーム」は、教務長、各学院の教師代表、総合教育センター・体育室の教師代表、教学資源センター主任、教務処課務組組長で組織され、教務長が招集者を務める。
- 六. 学生の解答率が当該クラスの学生の50%またはそれ未満、または試験対象外と公告された、または単一選択肢を繰り返し解答していた場合、計算には含まれないものとする。実践プロジェクト、プロジェクト制作、修士論文、学外実習、全て英語で行われる授業科目も計算の対象外とする。
- 七. 教師教学への学生アンケート調査の統計データは、教科担当教師の学部・学科別に学期末までに教務処が統計資料として集計し、教学の参考として、各学科・学部・院・担当教師に通知する。教学への学生アンケート調査の統計結果は、肯定的な割合の比率で表示され、肯定的な選択肢の回答率が70%を超え、かつアンケートカテゴリーの上位95%である場合、合格とされる。本校の教師が教える科目の中で、連続2学期の各1クラスまたは1学期の2クラス以上が合格ラインを下回った場合、教務処はフォローアップの教学指導を行うものとする。
- 八. 教師が昇進、継続教育、勤務延長、優秀教師選抜、非常勤講師の再任用等を申請する場合、本校関連機関からの求めに応じて、教務処が当該教師の過去1年以内の教科科目の教師教学のアンケート調査実施状況をまとめ、関連單元における教員評価の参考とする。
- 九. 本要点は、教務会議を経て、校長の承認を経て実施する。